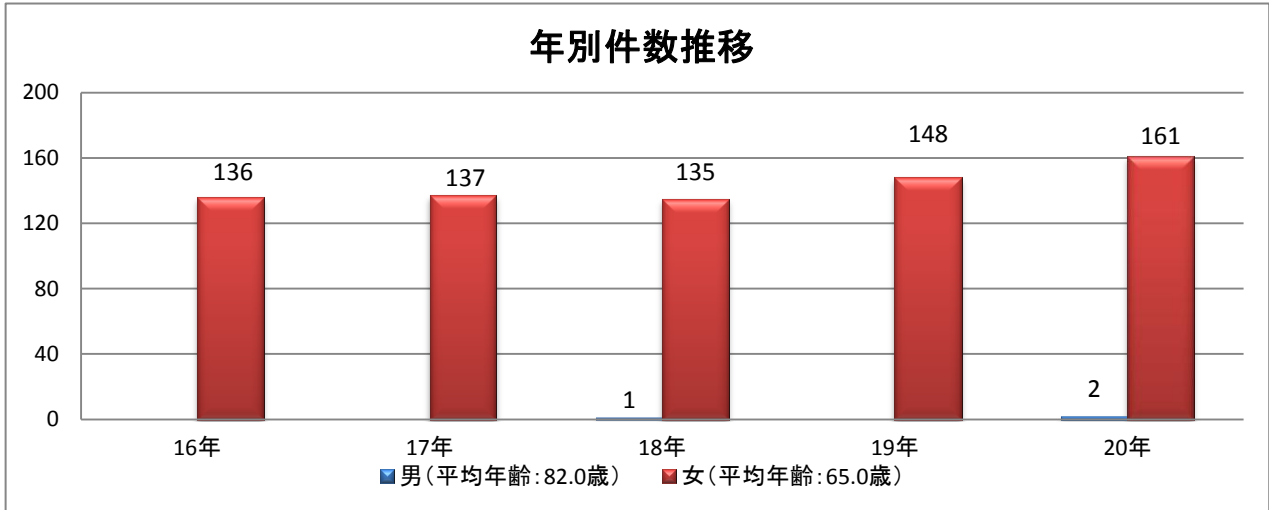
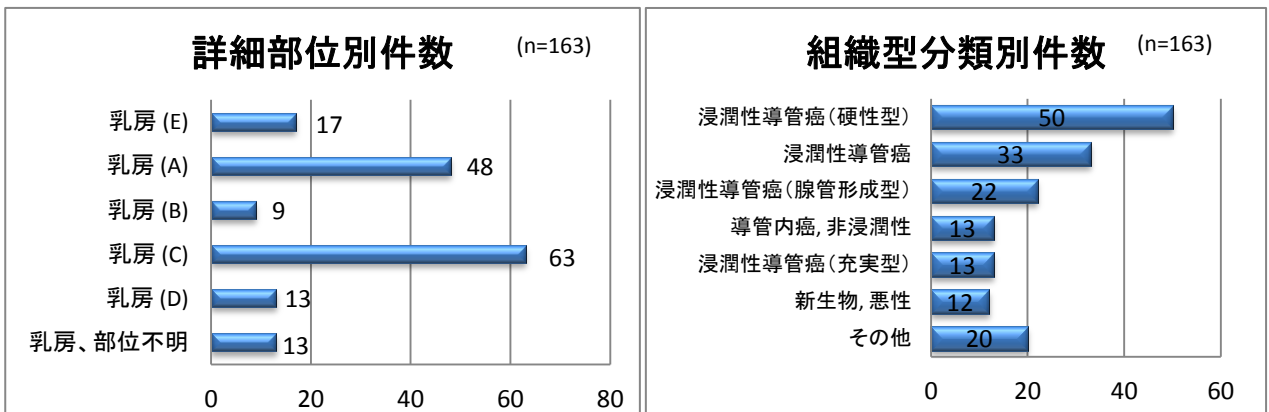


Ⅱ. 2020年集計＜部位別＞

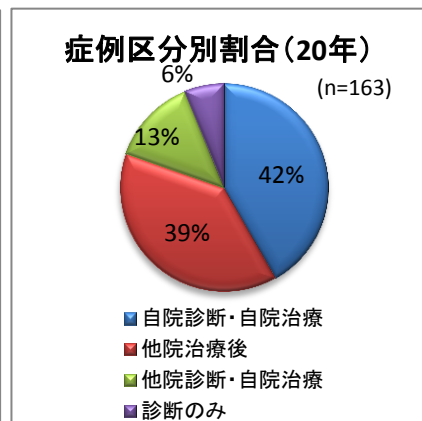
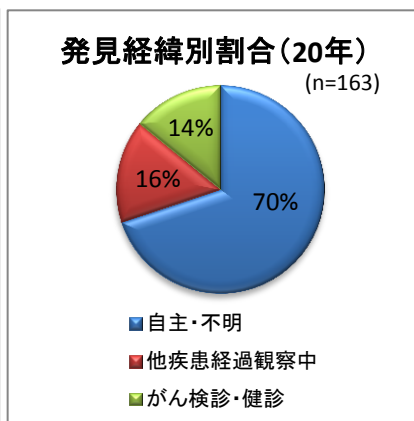
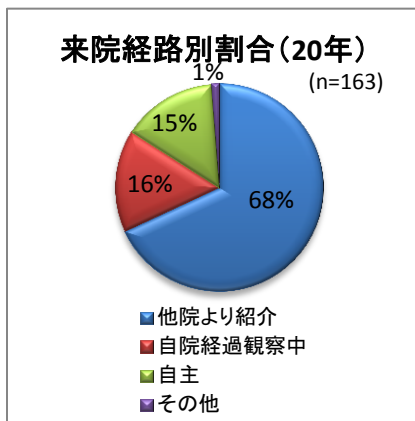
4. 乳房



年別件数推移は前年より件数が増加している。



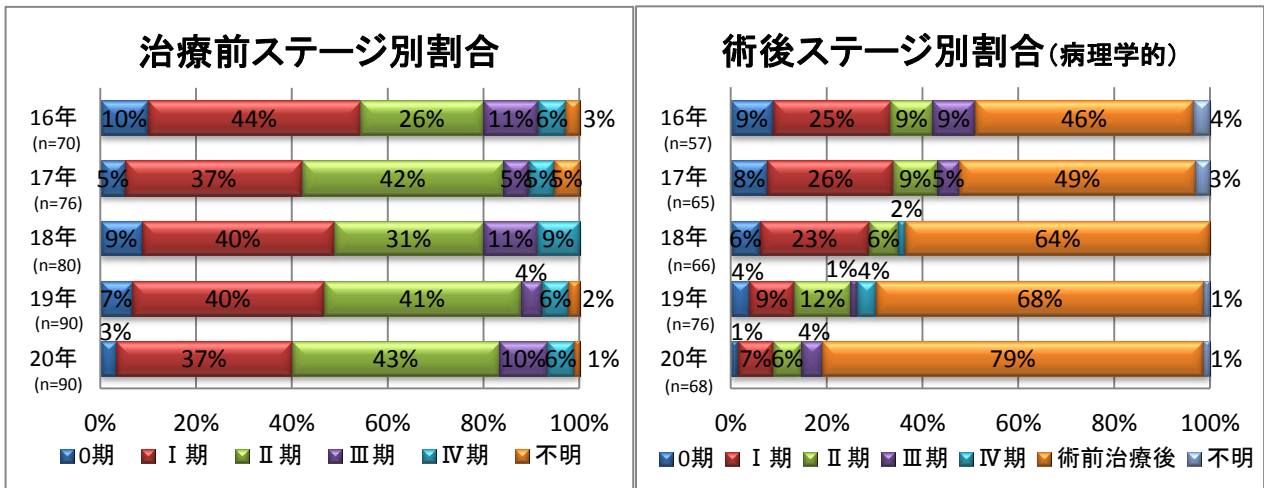
詳細部位別では「乳房(C)」の件数が最も多く、次いで「乳房(A)」の件数が多い。
組織型分類別は「浸潤性導管癌(硬性型)」の件数が最も多い。



来院経路別割合は「他院より紹介」の割合が約7割を占めている。

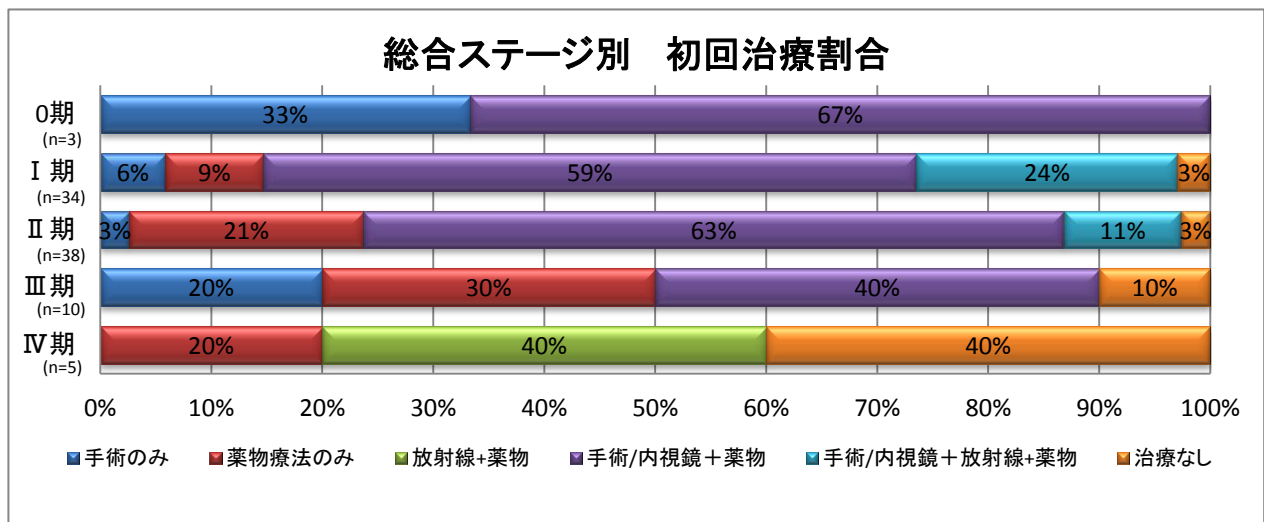
発見経緯別割合は「他疾患経過観察中」と「自主・不明」の割合が7割を占めている。

症例区分別割合は「自院診断・自院治療」と「他院治療跡」の割合が約4割を占めている。



治療前ステージは「II期」と「III期」の割合が増加している。術後ステージは「術前治療後」の割合が約8割を占めている。

※「術前治療後」には、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術する症例が含まれる。



0期～III期までは「手術/内視鏡+薬物」の治療が最も多くなっている。IV期は「放射線+薬物」と「治療なし」の治療が多くなっている。